

◇2018 年度実施の訪日教育旅行の実態とまとめ（中・高）〈抜粋〉◇

この調査は、2018（平成 30）年度に実施された中学校・高等学校の訪日教育旅行の受け入れに関するものである。

なお、調査は全国の国立・公立・私立等の中学校・高等学校を対象とし、下表の調査校を抽出し回答を依頼した。

設置者名	国立	公立	私立等	合計
全国校数	86	12,980	2,101	15,167
抽出校数	86	3,969	1,975	6,030
回答校数	20	1,521	565	2,106
回答率%	23.3%	38.3%	28.6%	34.9%

※回答率は、抽出校数に対する回答校数の割合

調査項目は次の通りである。

- (1) 来訪国・地域 (2) 来訪月 (3) 日本滞在日数
- (4) ～ (6) 来訪生徒数・来訪引率教員数・合計人数 (7) 来訪校の宿泊市町村
- (8) 来訪校の見学・交流市町村 (9) 受け入れ対応内容 (10) 交流費用
- (11) 費用の支出元 (12) 学校が支出の場合の支出元 (13) 学校間交流の具体的内容
- (14) 学校間交流における通訳の手配 (15) 受け入れ要請がどこからあったか
- (16) 訪日教育旅行受け入れ実施に当たっての課題や問題点

当調査の対象とした「訪日教育旅行」の定義は、以下の通りである。

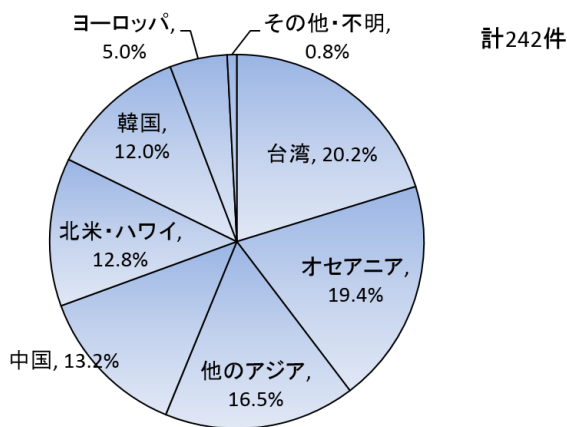
- ・主として、学校単位で引率者が引率し、訪日する団体の旅行（個人は除く）
- ・原則として、日本の学校との学校間交流を実施

そのため、引率者がいない 3 名以下の回答については対象外とした。

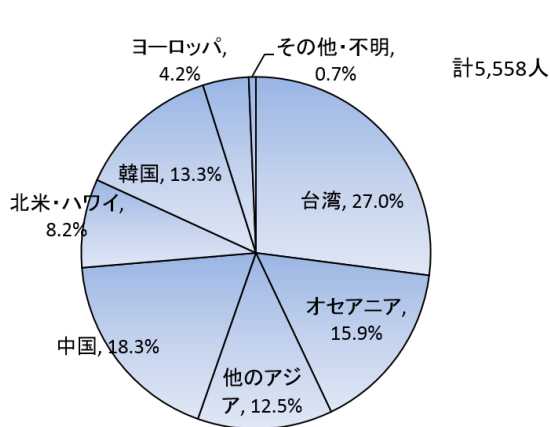
ここではその一部を抜粋して紹介する。なお詳細については「教育旅行年報データブック 2019」をご覧ください。

1. 国・地域別 訪日教育旅行数

国・地域別 訪日教育旅行件数（構成比）



国・地域別 訪日教育旅行人数（構成比）



※実施されたと報告された総件数を分母とした構成比 ※実施されたと報告された総人数を分母とした構成比

有効回答件数計 242 件（前年度 264 件）、人数計 5,558 人（前年度 6,911 人）は、いずれも前年を下回ったが、前々年の数字（217 件、5,434 人）は上回り、中長期的な増加傾向に変わりはないと思われる。

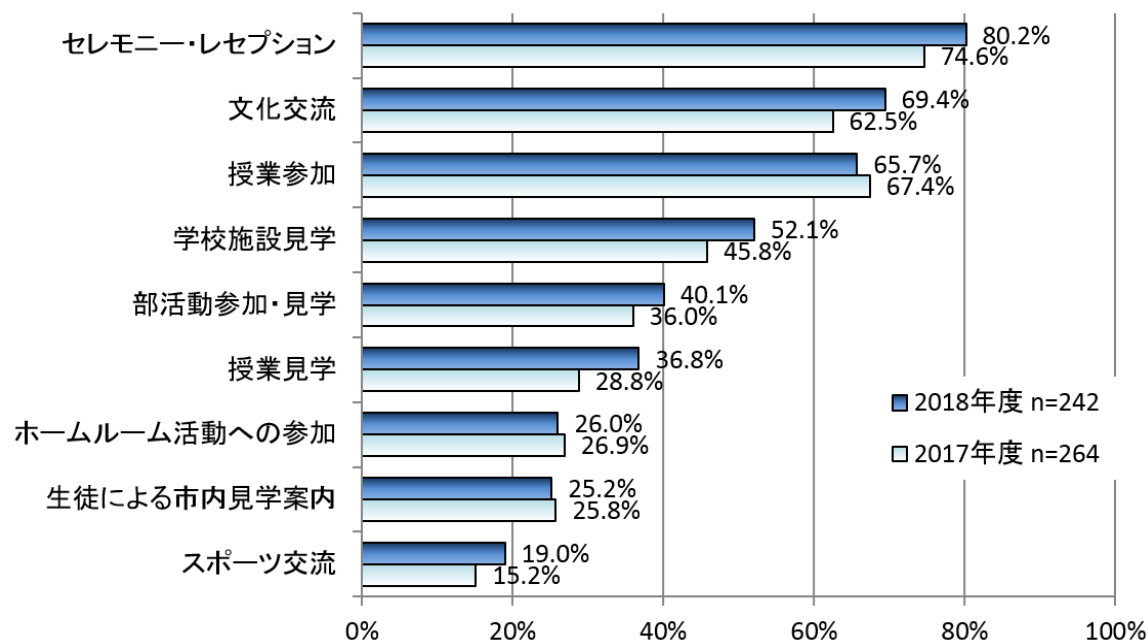
構成比の推移では、件数が多い東アジア 3 国（中国・韓国・台湾）以外のアジア諸国をまとめた「他のアジア」が、一昨年 9.2%→昨年 15.5%→本年 16.5%と増えている。その内訳も、従来から多いタイ（12 件）、シンガポール（7 件）といった国以外に、経済成長著しいフィリピン（6 件）、インドネシア（3 件）の他、モンゴル、ウズベキスタン、ブータンといった国々も見られる。近隣アジア諸国の経済的発展と、LCC 格安航空路線網の拡大といった要素から、今後も訪日が増えていくエリアかと思われる。また、2016 年に、教育旅行の重視・推進の通達が発信された中国も、引き続きの増加が見込まれる。

国・地域別 月別訪日教育旅行数

国・地域	来訪月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
中国	件数				9	2	3	3	3	3	8	1		32
	人数				245	38	113	63	77	101	303	75		1,015
韓国	件数		1	2	7	1	2	3	3		8	2		29
	人数		45	29	178	43	68	72	57		196	50		738
台湾	件数	4	12	2	6			5	7	8		5		49
	人数	116	411	49	193			121	170	252		191		1,503
他のアジア	件数	6	2	4	6	2	1	6	8	2	2		1	40
	人数	141	43	81	112	18	14	57	170	14	27		17	694
オセアニア	件数	7	1	5	3	1	11	12	1	4	1		1	47
	人数	180	21	94	46	15	189	245	12	58	4		18	882
北米・ハワイ	件数	3	4	10	9	1				1	1	2		31
	人数	59	29	141	159	8				15	10	32		453
ヨーロッパ	件数	1	1	2	1		1	2	1			2	1	12
	人数	20	9	23	14		23	44	17			32	54	236
その他不明	件数				1	1								2
	人数				16	21								37
件数計		21	21	25	42	8	18	31	23	18	20	12	3	242
人数計		516	558	417	963	143	407	602	503	440	540	380	89	5,558
件数構成比		8.7%	8.7%	10.3%	17.4%	3.3%	7.4%	12.8%	9.5%	7.4%	8.3%	5.0%	1.2%	100.0%
人数構成比		9.3%	10.0%	7.5%	17.3%	2.6%	7.3%	10.8%	9.1%	7.9%	9.7%	6.8%	1.6%	100.0%
前年度人数構成比		8.7%	12.7%	6.8%	12.1%	5.0%	9.9%	8.5%	9.9%	4.6%	10.1%	5.2%	6.4%	100.0%

学習指導要領に規定の「特別活動」の一つに位置づけられた「旅行・集団宿泊的行事」として実施される日本の修学旅行と異なり、訪日教育旅行は、学校内で日本に関心を持つ希望者を募集したり、日本語学習者（クラス）単位で来訪したりという形態が多い。そのため、各国・地域の学校の中・長期休みの時期や、国の定めた連続休日がある時期に行うことが多い。訪問国・地域毎に学年・学期のスケジュール等も異なるため、それが訪問月の違いに反映している。中国からは学年の終わりの時期である7月、台湾からは4月、10～12月の来訪が多い。オセアニア（オーストラリア・ニュージーランド）では9・10月が多い。

2. 学校訪問時の交流内容（複数回答）



※訪問件数を分母とした比率を表記

交流内容（複数回答）では、例年と傾向は同様で、「セレモニー・レセプション」、「授業参加」と「文化交流」の三つは、訪問件数中6割以上のケースで実施されており、学校交流の中心的な内容であると言える。